

重松 ゆうこ 新聞

「食は命」を合言葉に！

vol.2

重松ゆうこファンクラブ

はじめまして!重松ゆうこです
【進藤一馬市長】

みなさま、こんにちは。重松でございます。
先日の大寒波、いかがだったでしょうか。みなさま風邪などひかれませぬよう、しっかり食べてしっかり睡眠をとられて、体調管理にはくれぐれもお気をつけください。

さて、前回のお話の続きをさせていただきます。
私は20歳から英会話を始めました。高校で習っていた文法中心の英語の勉強が嫌いで成績は…でしたが、それでも英会話だけは出来るようになりたいと思っていたので、外国人教師の英会話授業だけは受けていました。英会話に夢中になっていた私は、気が付けば福岡市内の社会人英会話サークルへ通うようになりました。それからしばらくして、通っていたサークルに福岡市から東南アジアの青年交流事業を始めるにあたり、通訳ボランティアの話がありました。もちろん、私は自分の英会話の勉強になると思い、すぐに手をあげました。



その時の福岡市長は進藤一馬氏(※)。私自身、その時はまだ福岡市に住んでいなかったのですが、残念ながら進藤市長の事をよく存じ上げませんでした。

これから福岡市は国際都市を目指す、地理的にもアジアとの交流を主に行いたい、アジアの若い世代を福岡市に招き、福岡の発展に寄与してほしい。との方針で始めた事業との事。ある時、事業に参加する方が一堂に会し食事が開かれましたが、なんとそこに進藤市長もお見えになりました。偶然にも私のすぐ近くの席でしたが、「市長?へえ～」といった感じで政治に無頓着だった私にはその価値がまったくわかりませんでした。今思うと、少しでもお話しておけば良かったなあと後悔しています。

それから40年以上経ちますが、福岡市内の大学でアジア言語を教える学部が今でも中国語・韓国語(一部ベトナム語)だけであることは残念に思います。言語を学ぶ事は、その国の歴史や文化を学ぶ事に通じます。アジアとのビジネスを広げるためにもアジアの文化や言語を学ぶ学部があるといいなと考えています。

次号に続きます。

(※)進藤一馬市長

福岡市が政令指定都市に指定された直後の昭和47年9月、第25代市長に就任。
以来、4期14年間市長の役に就く